



言語表現1級と音楽・リズム1級に挑戦!

生活科学科の生徒が受検する保育技術検定（以下、保育検定）には「造形表現」・「言語表現」・「家庭看護」・「音楽リズム表現」の4種類があります。

今回は、保育コース・生活福祉コースの3年生が保育検定の言語表現1級と音楽・リズム1級合格に向けて取り組んでいる様子をお伝えします。



学年	合格を目標とする検定名
保育コース2年生全員・生活福祉コース2年生希望者	言語表現4、3級
保育コース3年生全員・生活福祉コース3年生希望者	言語表現2、1級
生活科学科1年生全員	音楽・リズム4級
保育・生活福祉コース2年生希望者	音楽・リズム3、2級
保育・生活福祉コース3年生希望者	音楽・リズム1級



言語表現では童話や物語、紙芝居などの読み聞かせを通して、幼児の発達段階にふさわしい言語表現の基本的技術・知識を身につけることを目的としています。また、自分自身でお話を創作し、そのお話を適切な表現かつ時間内で読み聞かせるために必要な言語表現に関する知識や技術習得も目標にしています。

言語表現1級では、事前にあるテーマが提示され、その内容に合った物語を創作します。そして、その物語を対象児に対して、内容にふさわしい話し方・表現方法などでお話するための言語表現の技術を身につけることを目標にしています。1級は2級までと違い、創作した物語を暗記して話さなければなりません。



音楽・リズム表現では、童謡歌唱やピアノ演奏、童謡の弾き歌いなどを通して、表現技術の基礎を学び、総合的な表現技術力を身につけることを目的としています。また、音楽に関する知識も学んでいきます。4級までは全員で取り組みますが、3級からは放課後を利用し、独学で取り組みます。

音楽・リズム表現1級では、事前に示された曲のピアノ演奏と童謡の弾き歌いを制限時間5分以内に行います。ピアノの指の動きや曲にあったテンポ・リズムになっているか、歌と伴奏のバランスなど、様々な点に気をつけながら演奏をしていきます。

何度も繰り返し練習し、本番に臨みます。



言語表現1級と音楽・リズム1級は、物語を暗記して制限時間内で感情を込めてお話ししたり、ピアノの演奏をしながら童謡歌唱したり、とても難しい検定試験です。

検定を受検する皆さんは、これまで放課後の時間などを活用し、たくさん練習してきましたね!最後まで粘り強く練習して、合格を目指して頑張りましょう!

